

## 「学校教育目標」と「令和5年度重点目標」に向けて

「夢をもち、明るく笑顔で生き生きとチャレンジする児童の育成」

～たくましく ゆたかに ひびけ われら若楠～

○ともに学び合い、認め合いながら学びを深める子ども  
 ○元気なあいさつ、言葉かけができる子ども ○あきらめず、前向きにチャレンジする子ども

## 豊かな人間性

- ・自分や友達の良さを見つけ、共に認め合う
- ・思いやりや感謝の気持ちを言葉や行動で伝える
- ・自分から進んで明るいあいさつをし、よりよい人間関係を築こうとする

## 健康・体力

- ・運動や遊びに進んで取り組み、元気な体をつくる
- ・自分の体と心を大切にする
- ・自分の健康づくりの課題に気づき、自分で考えて取り組む

## 資質・能力の育成

何ができるようになるか  
 ○学校教育の基本

- ①学習したことや体験したことを生かす
- ②その場の状況に適した対応をし、課題を解決することができる
- ③主体的に考え、行動する

何が身に付いたか  
 ○学習評価を通じた学習指導の改善

- ①学習したことや体験したことを学習活動等を比べたりつなげたりしている
- ②その場の状況を把握し、課題を解決する方法を見つけようとする
- ③自分の考えをもち、学び合いながら、自分の考えを広げたり深めたりしている

## 子どもの実態

- 与えられた課題に一生懸命に取り組む
- 素直に頑張ることができる
- 語彙が少なく、言葉がきつい

子どもの発達をどのように支援するか  
 ○配慮を必要とする子どもへの指導

- ・人的環境のユニバーサルデザインを基盤にした学級づくり
- ・学校生活支援員、特別支援学級支援員、学習支援員、SC、SSWの活用及び関係機関等との連携
- ・子ども一人一人の教育的ニーズの把握と支援
- ・職員間での情報共有、協働

## 目指す子どもの姿

- 自分で考え、行動する子
- 互いを思いやり、認め合う子
- あきらめず、前向きに挑戦する子

何を学ぶか  
 ○教育課程の編成

- ①教育活動全体を通じた「聴いて 考えて つなげる」の実施
- ②ねらいを明確にした学校行事の年間指導計画作成と実施
- ③教科横断的な視点に立った年間指導計画の作成
- ④地域とのつながりを大切にしたい行事・単元づくり

どのように学ぶか  
 ○教育課程の実施

- ①「やさしい話し方・あたたかい聴き方」を基盤とした授業の推進
- ②対話的な学びの充実
- ③資質・能力の育成を意識した単元づくりと指導と評価の一体化
- ④児童の自主性を生かす活動の工夫

実施するために何が必要か  
 ○指導体制の充実、家庭・地域の連携・協働

- 安心感・共感・集団肯定感を大切に学級づくりの推進
- 異学年でのつながりを生かしたたて割り活動（ひびき活動）や他学年との学びの場の設定
- 学びの環境づくりの推進と学習規律の徹底
- 若楠まちづくり協議会との連携及び地域学校協働活動推進員、ボランティアむつみの活用

## 安心・安全を守る

- いじめ防止対策委員会の設置
- 安全教育、防災教育の実施
- 保護者、地域との連携
- 安全点検の充実

## 開かれた学校づくり

- 学校運営協議会における学校評価の活用
- 地域（まちづくり協議会、地域子ども教室等の各種団体）との連携・協働
- 外部講師や出前授業の活用
- 学校ホームページや学校便りを通しての発信